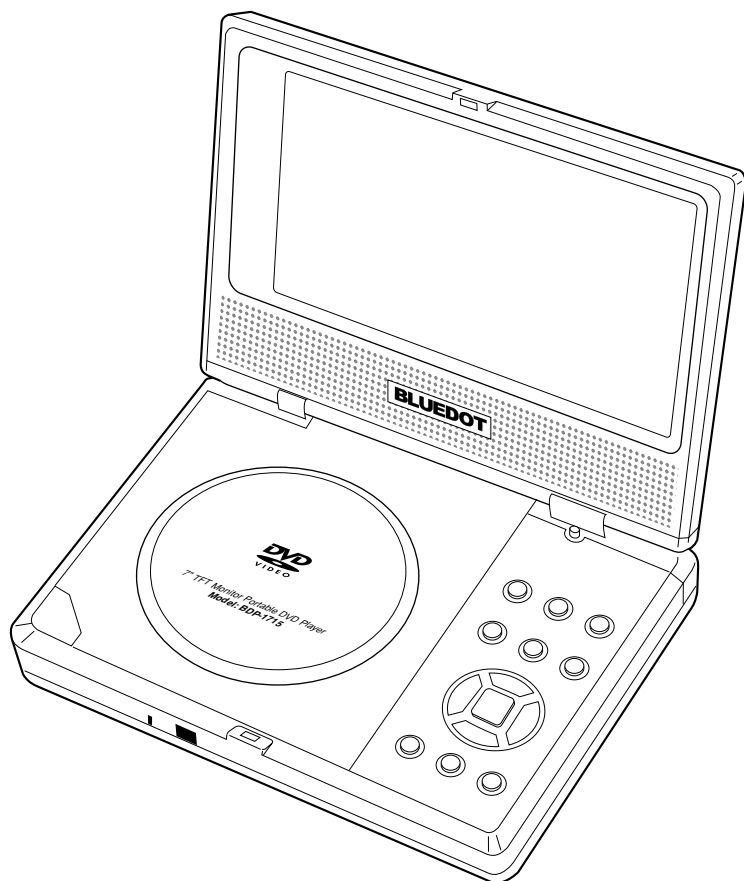
BLUEDOT®

7インチワイドTFTモニター
ポータブルDVDプレーヤー
BDP-1715

取扱説明書

BLUEDOT株式会社

はじめに

弊社ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
はじめに、この説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本機の特徴

1. 美しい映像と音声を再現

7インチのワイドTFT液晶パネルや、内蔵ステレオスピーカー、AV出力、ヘッドホン出力、コアキシャル出力などを通して、DVDの美しい映像と音声を余すところなくお楽しみいただけます。

2. CPRM対応ディスクの再生に対応

デジタル放送を録画したCPRM対応ディスクの再生に対応。* レコーダーで録りためたテレビ番組を、通勤通学や待ち合わせなどの空き時間を使ってお楽しみいただけます。

*** 読み込みにかかる時間や動作音が大きくなることがありますが、故障ではありません。**
*** 2層式ディスク(DVD-R DL)の再生はサポートしていません。**

3. さまざまな便利機能を搭載

本に『しおり』をはさむように、今まで観ていたシーンを覚えてくれるレジューム機能を搭載。再び電源を入れたとき、前回の続きから映像をお楽しみいただくことができます。*
また、画面を拡大/縮小するズーム機能や、特定のシーンを探すことができるタイムサーチ機能ほか、ブックマーク再生、プログラム再生、ABリピート再生など、さまざまな機能をご活用いただけます。

*** DVDビデオのみ。VRモードで記録されたDVDやデータディスクには対応していません。**

4. MP3ファイル、JPEGファイルの再生に対応

高音質なままファイルサイズを小さくすることができるMP3形式の音楽データや、デジタルカメラなどで広く使われているJPEG形式の画像データを再生することができます。

5. 買ってすぐ楽しめる充実のアクセサリー

充電バッテリーパックを取り付ければ、移動中や外出先でもDVDをお楽しみいただけます。
また、カーバッテリーアダプター(12V車専用)を接続すれば車の中でも安心してお使いいただけるほか、標準でステレオイヤホンも付属するので、いつでもどこでも映画や録りためたテレビ番組に集中することができます。

付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

·オーディオ·ビデオコード	1	·カーバッテリーアダプター	1
·リモコン	1	·ステレオイヤホン	1
·ACアダプター	1	·取扱説明書	1
·充電バッテリーパック	1	·保証書	1

もくじ

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	記号は、注意 をしなければならない内容を表しています。
	記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

⚠ 警告

異常な状態が見つかったら

煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常が見つかった場合は、すぐに本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その上で弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。

付属のACアダプター以外は使用しない。

付属品以外のものを使用すると、火災の原因となります。

付属のACアダプターは日本国内専用です。

外国での使用で故障した場合は、保証対象外となります。

付属のACアダプターはAC 100 V～240 V、50/60Hz以外の電源で使用しない。

指定の電圧以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

付属のカーアダプターはDC 12 V以外の電圧で使用しない。

指定の電圧以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

電源コードは破損しないようにする。

- 上に重いものを載せない。
- ステープルなどでとめない。
- 熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- 加工したり、傷つけたり、無理に曲げたりしない。

火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない。

電源プラグを持って抜いてください。
コードが破損して、火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。

⚠警告

分解禁止

ケース内部を絶対に開けない。

本体やACアダプターなどのケースは、絶対に分解しないでください。
火災や感電の原因となります。

プラグを抜く

落雷の恐れがあるときは

すぐに本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
破損や感電の原因となります。

禁止

内部に物や水などを入れない。

本体やACアダプターの開口部から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因となります。

禁止

下記の場所に置かない。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 風呂場など湿気やほこりの多い場所。
- 窓を閉めきった自動車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。

落下して破損したり、熱による破損、火災、感電の原因となります。

禁止

水などの入った容器の近くに置かない。

本体やACアダプターの近くに花瓶、植木鉢、コップ、その他水などの入った容器を置かないでください。
こぼれたりして、火災や感電の原因となります。

禁止

落下した機器は使わない。

落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、まず本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

布や布団でおおわない。

本体やACアダプターを、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、ケースの変形や、火災の原因となります。

禁止

車や自転車、オートバイなどの運転中は絶対にヘッドホンを使用しない。

重大な事故の原因となります。

禁止

車や自転車、オートバイなどの運転者は絶対に映像や画像の視聴をしない。

重大な事故の原因となります。

分解禁止

改造や、指定の技術者以外の人が修理をしない。

破損や火災、事故の原因となります。
また、メーカーで責任を負うことができず、保証対象外となります。

注意

レーザー光線をのぞかない

本機はレーザーダイオードを使用しています。ケース本体を開けたり、取扱説明書の記載によらない操作を行って、レーザー光線を直接のぞかないようにしてください。

⚠注意

プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、バッテリーパックを取り外してください。

移動するときは全ての接続を外す。

ACアダプター、カーアダプターなどを外してから移動してください。
けがや火災、感電の原因となります。

電池は極性(+と−の向き)に注意して正しく入れる。

間違えると火災や破損、液漏れの原因となります。

禁止

指定以外の電池は使用しない。

火災や破損、液漏れの原因となります。

充電池は指定の方法で充電する。

間違った方法で充電すると、火災や破損、液漏れの原因となります。

禁止

電池を加熱、分解したり、火の中に入れない。

破損や破裂をして、けがや火災の原因となります。

禁止

機器の上に乗らない。

お子様が機器に乗ったりしないように、ご注意ください。破損やけがの原因となります。

音量に気をつける。

電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

ヘッドホンを使用するときは

音量(ボリューム)を最小にしてからプラグを抜き差ししてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

禁止

ひざの上で長時間使用しない。

本体が熱くなり、火傷の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。

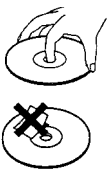
お手入れは必ずACアダプターを外して行う。

破損や感電の原因となります。

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

- ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- 再生後はディスクケースに保管してください。

ディスクの掃除

再生前に、きれいな布でディスクの中心から放射状に拭いてください。

結露について

本機を寒い場所から温かい場所へ急に移動したり、湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズに結露し、故障や再生不良の原因となります。
そのときはディスクを取り出し、本機を約1時間オンにし、湿気を蒸発させます。

ディスクの絵表示について

この説明書では、下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
DVD	DVDの機能
CD	CDの機能

用語の説明

DVDの構造

CDの構造

タイトル

DVDでは、映画本編と特典映像のように、異なる複数の内容が記録されていることがあります。
このような大きな区分けをタイトルといいます。

チャプター

各タイトルでは、一定の時間やシーンなどによって、さらに小さく内容を分けていることがあります。
このような小さな区分けをチャプターといいます。

トラック

CDに記録されている各曲のことを、便宜上、トラックということがあります。

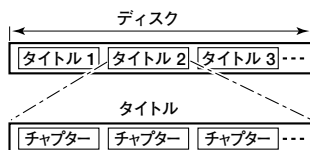
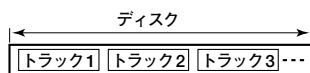
CDDA

音楽CDのことを、他のデータCDなどと区別するためにCDDAということがあります。

MP3

音声圧縮方式の一つで、高音質なまま音楽データのファイルサイズを小さくすることができます。

JPEG

静止画圧縮方式の一つで、デジタルカメラの写真やインターネット用の画像として、広く使われています。

本機で再生できるディスク

下の表のディスクが再生できます。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ
DVDビデオ	DVD	DVD VIDEO	動画	12cm 8cm
CDDA	オーディオCD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽	12cm 8cm
VCD (SVCD)	ビデオCD （スーパービデオCD）	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	動画	12cm 8cm
MP3	データDVD/データCD		音楽	
JPEG	データDVD/データCD		画像	

◆ 本機では、DVD-R/RW、DVD+R/RW、およびCD-R/RWを再生をすることができます。
ただし再生できる規格であっても、記録された機器や、パソコンのソフト、ディスクのメーカーなどによっては再生できない場合があります。

次のディスクは本機では再生できません

※ DVDオーディオ、SACD、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。
※ 録画機器や録画状態、ディスク製造上の問題などで再生できないディスクがあります。

本機で再生できるリージョンコード（地域番号）

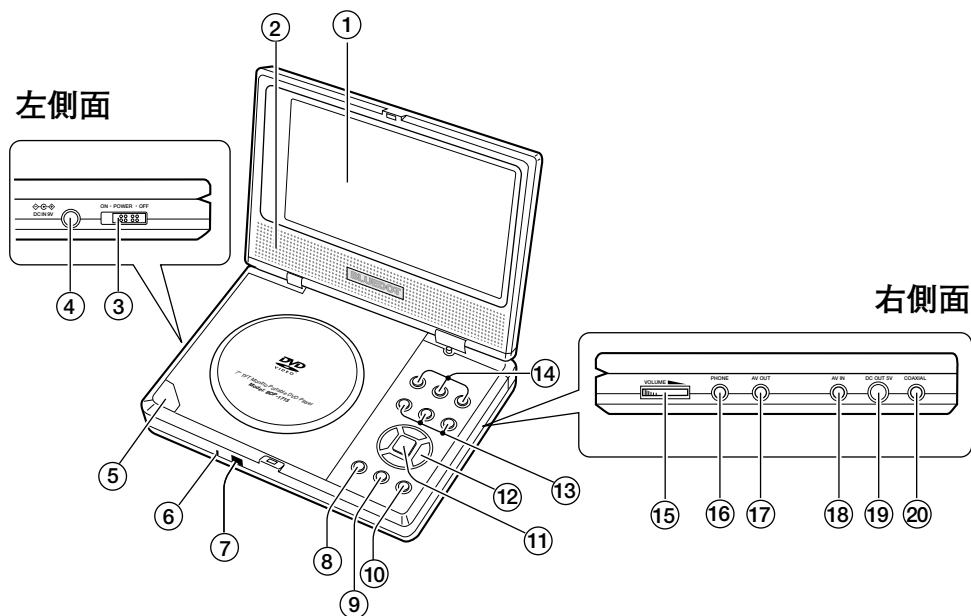
DVDビデオ及びDVD再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。
市販のDVDビデオは、DVD再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。
日本国内のリージョンコードは "2" です。
本機のリージョンコードも "2" に設定されており、DVDのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。

※ リージョン "ALL" はリージョン "0" と表現されていることがあります。

データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

各部の名前

本体

① TFTカラー LCD 画面表示部

② スピーカー

③ **POWER**（電源）**ON/OFF**スイッチ

④ **DC IN 9V**端子

⑤ **PUSH OPEN**ボタン

⑥ **POWER ON**（電源）/**CHG**（充電）表示

⑦ リモコン受光部

⑧ ► （再生）ボタン

⑨ ❚❚ （一時停止）ボタン

⑩ ■ （停止）ボタン

⑪ **OK**（確定）ボタン

⑫ **上/下/左/右方向**ボタン

⑬ **MENU**ボタン

|◄◄/◄◄（スキップ/サーチ）ボタン*

►►|/►►（スキップ/サーチ）ボタン*

⑭ **SOURCE**ボタン

MONITORボタン

OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）ボタン

⑮ **VOLUME**（音量）調節ツマミ

⑯ **PHONE**（ヘッドホン）端子
ヘッドホンを接続すると本機のスピーカーからは音が出なくなります。

⑰ **AV OUT** （AV出力）端子

⑱ **AV IN** （AV入力）端子

⑲ **DC OUT 5V** （電源供給）端子

⑳ **COAXIAL** （デジタル音声）出力端子

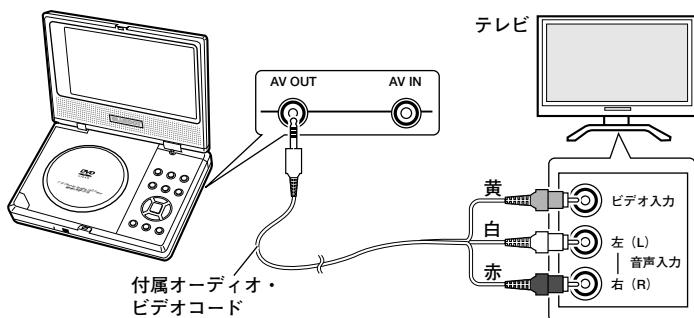
*通常どおり短く押すと**スキップ**（飛び越し）、1秒以上長く押すと**サーチ**（高速再生）として機能します。

リモコン

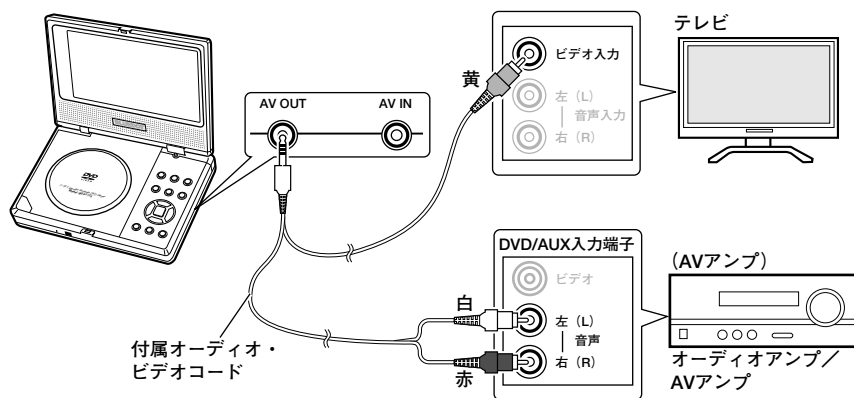
① **OSD**(オン・スクリーン・ディスプレイ)ボタン
② **音声切換**ボタン
③ **タイムサーチ**ボタン
④ **ブックマーク**ボタン
⑤ **ダイジェスト**ボタン
⑥ **再生モード**ボタン
⑦ **リピート**ボタン
⑧ **上/下/左/右方向**ボタン
⑨ **再生(►)**ボタン
⑩ **A-B** リピートボタン
⑪ **スロー(I►)**ボタン
⑫ **一時停止(II)**ボタン
⑬ **サーチ(◄◄/►►)**ボタン
⑭ **スキップ(I◄◄/►►I)**ボタン
⑮ **停止(■)**ボタン
⑯ **リターン**ボタン
⑰ **ズーム**ボタン
⑱ **メニュー**ボタン
⑲ **トップメニュー**ボタン
⑳ **画面調節**ボタン
㉑ **設定**ボタン
㉒ **クリア**ボタン
㉓ **数字**ボタン
㉔ **字幕切換**ボタン
㉕ **消音**ボタン
㉖ **送信部**

外部機器と接続するとき

⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

テレビと接続する

◆ 付属オーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の**AV OUT**（アウト）端子に、白いピンプラグをテレビの左音声（オーディオ）入力端子に、赤いピンプラグをテレビの右音声（オーディオ）入力端子に、また黄色いピンプラグをテレビのビデオ（映像）入力端子に接続します。

※ テレビで再生するときは、SOURCE（ソース） ボタンでAV OUT（AV出力）モードに切り換えてください。（40ページ参照）

テレビとオーディオアンプ、またはAVアンプを接続する

◆ オーディオアンプと接続する場合、付属オーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の**AV OUT**（アウト）端子に、白いピンプラグをアンプの左音声（オーディオ）入力端子に、赤いピンプラグをアンプの右音声（オーディオ）入力端子に接続します。

付属オーディオ・ビデオコードの黄色いピンプラグをテレビのビデオ（映像）入力端子に接続します。

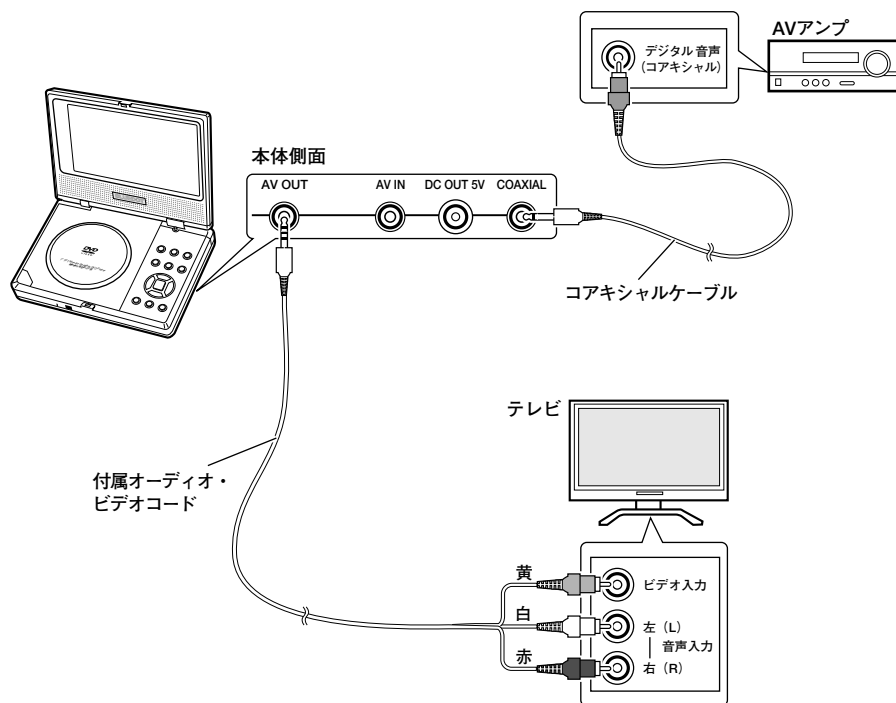
黄色いピンプラグは、AVアンプのビデオ入力端子に接続することもできます。その場合は、AVアンプのビデオ出力端子とテレビのビデオ入力端子を市販のビデオコードを使って接続してください。

◆ アンプと他の機器との接続はアンプの説明書を参照してください。

※ テレビで再生するときは、SOURCE（ソース） ボタンでAV OUT（AV出力）モードに切り換えてください。（40ページ参照）

⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

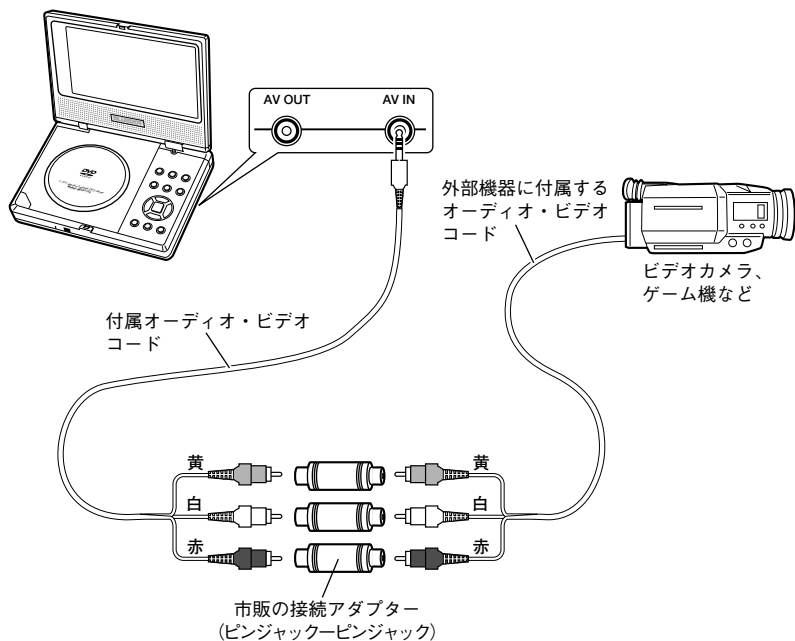
コアキシャル（デジタル音声）接続をする

アンプにコアキシャル（デジタル音声）入力端子がある場合、コアキシャルケーブルで接続することができます。コアキシャル接続をするとより高音質で音声を聴くことができます。
また、アンプが対応している場合は5.1チャンネルなどのサラウンドが楽しめます。

※ 白プラグ、赤プラグはテレビのスピーカーで音声を聴くことが多い場合のみ接続してください。
この接続をして、アンプの音声で聴く場合は、テレビの音声は「消音（ミュート）」にしてください。

◆ コアキシャルケーブルは片側ミニプラグの市販品をお使いください。

※ テレビで再生するときは、SOURCE（ソース）ボタンでAV OUT（AV出力）モードに切り換えてください。
（40ページ参照）

⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

外部の映像を本機で再生する

◆ 付属オーディオ·ビデオコードのミニプラグを本機のAV IN（イン）端子に接続します。

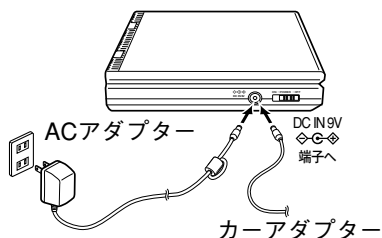
◆ 付属オーディオ·ビデオコードと、外部機器に付属するオーディオ·ビデオコードとを、市販の接続アダプターを使って接続します。

◆ 外部機器によっては、接続方法が上記と異なる場合があります。詳しくは外部機器の取扱説明書を参照してください。

※ **外部機器を再生するときは、SOURCE（ソース） ボタンでAV IN（AV入力）モードに切り換えてください。（40ページ参照）**

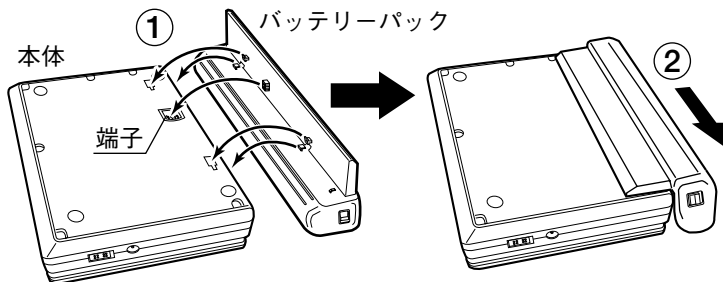
電源の準備

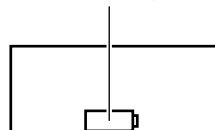
電源の接続

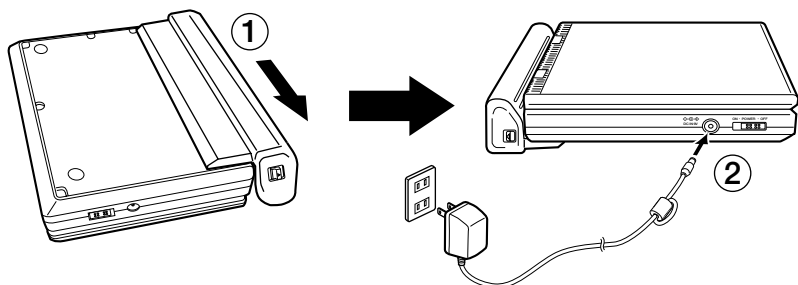
AC電源で使う、またはカー電源で使う

◆ 付属のACアダプターまたはカーバッテリーアダプターを本機の**DC IN 9V**端子に接続します。

◆ 付属のACアダプターは交流100V〜240Vに対応しています。（保証対象は国内での交流100V使用のみとなります。）
また、**付属のカーバッテリーアダプターは12V車専用です。**

- **指定の電圧以外では使わないでください。**
- **ACアダプターやカーバッテリーアダプターを取り外す前に、必ず本機の電源スイッチをOFF（オフ）にしてください。**

充電バッテリーパックで使う

◆ はじめに本機の電源をオフにし、ACアダプターは取り外します。
① 本体を裏返しにして、バッテリーパックの突起を本体のそれぞれの穴に合わせて入れます。
② バッテリーパックを、カチッと音がするまでスライドさせて固定します。
◆ 充電池の残りが少なくなると、画面上にローバッテリー表示が出ます。
◆ 工場出荷時は付属のバッテリーパックは充電されていません。ご使用の前に15ページの手順にしたがって充電してください。
◆ バッテリーパックは、周囲温度5℃から35℃の範囲でご使用ください。

ローバッテリー表示

バッテリーパックを使わないときは取り外しておいてください。
バッテリーパックを取り外すときは必ず15ページの手順で取り外してください。
無理に取り外そうとすると破損する恐れがあります。

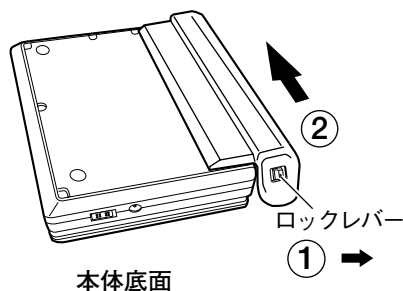
バッテリーパックを充電する

◆ はじめに本機の電源をオフにし、ACアダプターは取り外します。
① 本体を裏返しにして、バッテリーパックの突起を本体のそれぞれの穴に合わせて入れ、カチッと音がするまでスライドさせて固定します。
② ACアダプターのDCコード側を本体の **DC IN 9V** 端子に接続し、プラグ側をコンセントに差し込みます。
◆ 充電が開始して、「**POWER ON/CHG**」表示が赤色に点灯します。
◆ 約4.5時間でフル充電になり、表示が消灯します。
◆ 充放電は約500回までできます。

1. 充電中「POWER ON/CHG」表示が点灯している間はACアダプターを外さないでください。充電時間は目安であり、外部環境やバッテリーパックの状態によって変わります。
2. 充電中や再生中はバッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。

バッテリーパックの取り外しかた

バッテリーパックが取り付けられているときは、本体にロックされています。
必ず下記のようにロックレバーを解除して、バッテリーパックを取り外してください。

① **DC IN 9V** 端子からプラグを抜き、底面を上にして、ロックレバーをスライドさせます。
② ロックレバーをスライドさせたまま、バッテリーパックを矢印の方向へスライドさせて取り外します。

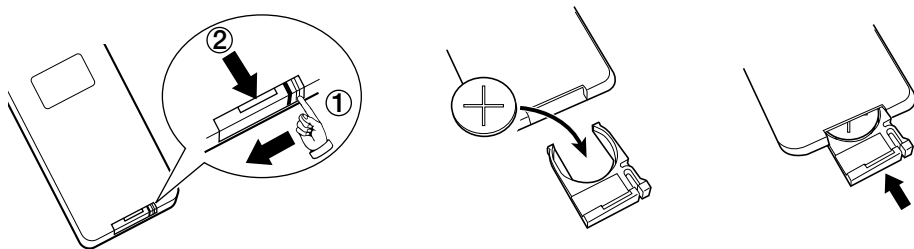
本体底面

リモコンの使いかた

電池を入れる

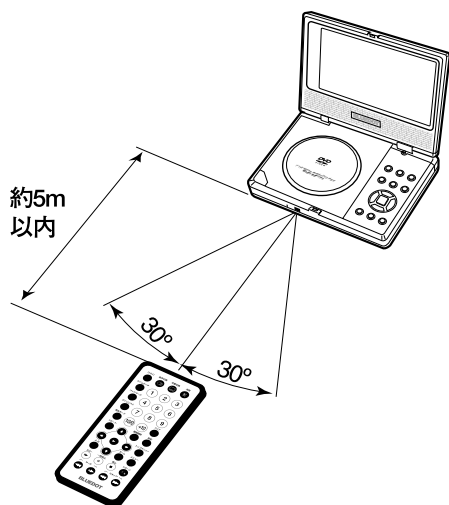
工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用の前に保護シートを丁寧に引き出してください。
また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

1. 電池ホルダーを外す

2. 電池を入れ換える

3. 元に戻す

①の部分にツメを掛けて矢印の方向へ押しながら、②の部分にツメを掛けて引き出します。

◆ 電池を交換するときは「リチウム電池 **CR2025**」をご使用ください。

リモコンの操作範囲

◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。電池寿命は約1年です。
◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。

リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

基本的な使いかた

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

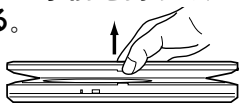
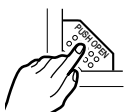
ディスクをセットする CD DVD

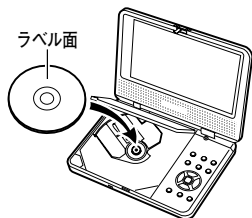
1. 電源の準備をする。

14ページを参照して電源の準備をします。

2. 電源スイッチをオンにする。

あらかじめVOLUME（ボリューム）調節ツマミを最小にしておきます。

3. カバーの手前を持って、カバーを開ける。

4. PUSH（プッシュ） OPEN（オープン）ボタンを押してディスクトレイカバーを開ける。

5. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッとおさまるようにセットします。

6. ディスクトレイカバーを閉める。

ディスクトレイカバーのCLOSE（クローズ）部を押して、カチッとロックするまでしっかり閉めます。

再生を始める CD DVD

再生（▶）ボタンを押す。

◆ DVDによってはメニュー画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示にしたがってください。

停止する CD DVD

停止（■）ボタンを押す。

◆ 停止後に**再生**（▶）ボタンを押すと、停止した位置から通常再生を開始します。
◆ 完全に停止する場合は**停止**（■）ボタンを2回押します。

一時停止する CD DVD
ステップ再生（コマ送り）をする DVD

一時停止（❚❚）ボタンを押す。

◆ 再生中に**一時停止**（❚❚）ボタンを1回押すと一時停止します。
◆ DVD再生中は**一時停止**（❚❚）ボタンを押すごとにステップ再生（コマ送り）になります。
◆ 通常再生に戻る場合は**再生**（▶）ボタンを押します。

操作禁止マークについて

DVDでは、制作者の意図により、シーンによって操作が禁止されていることがあります。
その場合は右図のマークが表示されます。

いろいろな再生をする

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

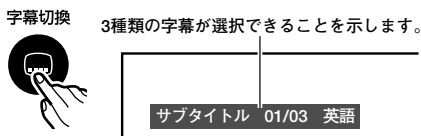
字幕（サブタイトル）を切り換える DVD

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

字幕切換ボタンを押す。

押すごとに、字幕が切り換わります。

3種類の字幕が選択できることを示します。

サブタイトル　01/03　英語

◆ 字幕を表示させたくないときは**非表示**を選択します。
◆ 字幕が記録されていないディスクでは、操作禁止マーク ⃠ が表示されます。

音声（オーディオ）を切り換える DVD

ディスクに複数の音声が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

音声切換ボタンを押す。

押すごとに、音声が切り換わります。

3種類の音声が選択できることを示します。

オーディオ　1/3：　AC3　3/2.1CH　英語

音声フォーマット

◆ 音声が1つしか記録されていないディスクでは、操作禁止マーク ⃠ が表示されます。

スロー再生（低速再生） DVD

ディスクを低速再生することができます。

スローボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。

スロー

通常再生 →（前へ）1/2→1/4→1/8→1/16 → 1/16←1/8←1/4←1/2（後ろへ）← 通常再生

◆ スロー再生中に**再生**（▶）ボタンを押すと通常再生に戻ります。

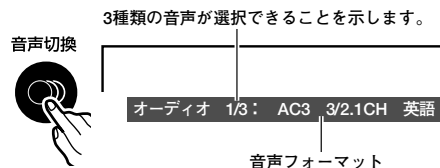
サーチ（高速再生） CD DVD

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ（◀◀/▶▶）ボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。

◆ サーチ中に**再生**（▶）ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スキップ（飛び越し） CD DVD

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

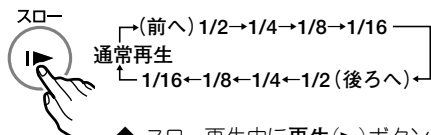
スキップ（|◀◀/▶▶|）ボタンを押す。

▶▶| ボタンを押す

押すごとに、次のトラックまたはチャプターに飛び越して再生を始めます。

|◀◀ ボタンを押す

押すごとに、前のトラックまたは前のチャプターの出だしに戻り再生を始めます。

リピート再生(繰り返し) CD DVD

ディスク全体やタイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

チャプター：再生中のチャプターを繰り返します。
タイトル：再生中のタイトルを繰り返します。
トラック：再生中のトラックを繰り返します。
すべて：ディスク全体を繰り返します。

リピートボタンを押す。

押すごとに、リピートモードが切り換わります。

DVD 再生時

① チャプター
② タイトル
③ すべて
④ 通常再生

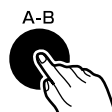
CD 再生時

① トラック
② すべて
③ 通常再生

◆ **リピート**ボタンを繰り返し押してリピート表示を消すと、再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。

ABリピート再生 CD DVD

再生中に自分で指定した区間を繰り返し再生することができます。

1. 再生中、リピートを開始させる場所でA-Bボタンを押す。

2. リピートを終了させる場所で、もう一度、A-Bボタンを押す。

◆ 指定した区間を繰り返し再生します。
◆ **A-B** ボタンを繰り返し押して**ABリピート**表示を消すと、再生中の位置から通常再生に戻ります。

レジューム再生 CD DVD

再生を停止して電源を切った後、もう一度電源を入れると続きから再生することができます。

1. 停止(■)ボタンを1回押す。

2. 電源を切る。

3. もう一度電源入れると、停止した位置から再生が始まります。

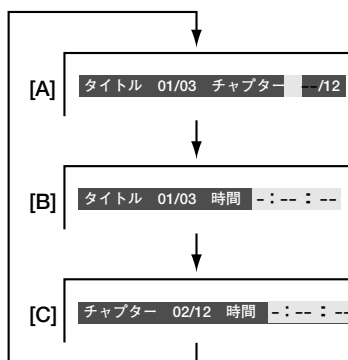
◆ ディスクを入れ換えるか、ディスクを完全に停止すると、停止位置の記憶が解除されます。
◆ CPRM対応ディスクなど、VRモードで記録されたDVDには対応していません。
◆ MP3/JPEGなどのデータディスクには対応していません。

タイムサーチ機能 CD DVD

タイトルや、チャプター、トラック番号を直接入力したり、それぞれの先頭からの時間を指定してお好きな位置から再生を始めることができます。

タイムサーチボタンを押す。

DVD 再生中

押すごとに、次のように切り換わります。

A ：タイトル、チャプター番号を選んで再生。

① [A]を選んで左方向ボタンでタイトル番号を反転させる。

タイトル --/03 チャプター --/12

② 数字ボタンでタイトル番号を入力する。

③ 右方向ボタンでチャプター番号を反転させる。

タイトル 01/03 チャプター --/12

④ 数字ボタンでチャプター番号を入力する。

◆ ディスクまたはシーンによっては、上記操作の一部が禁止されている場合があります。

B/C：指定したタイトル、またはチャプターの先頭からの時間を入力して再生。

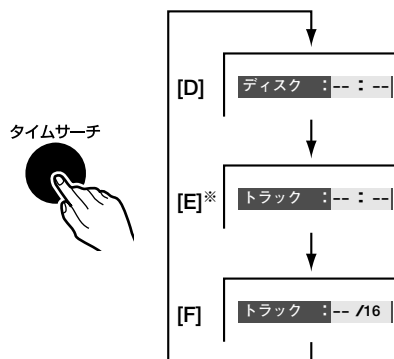
① [B]または[C]を選ぶ。

② 数字ボタンで時間を入力する。

（例）5分25秒を指定→「10/0、10/0、5、2、5」の順に押す。

◆ ①の操作の後に左方向ボタン（⬅）を押すと、タイトル番号またはチャプター番号を入力して指定できます。入力すると自動的にカーソルが時間に移ります。

CD 再生時

押すごとに、次のように切り換わります。

※Eは、CD再生中のときのみ表示されます。

D/E：ディスクまたは再生中のトラックの先頭からの時間を入力して再生。

① [D]または[E]を選ぶ。

② 数字ボタンで時間を入力する。

（例）1時間5分25秒を指定→「1、10/0、5、2、5」の順に押す。

F：トラック番号を選んで再生。

① [F]を選ぶ。

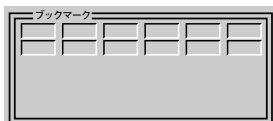
② 数字ボタンで番号を入力する。

ブックマーク再生 CD DVD

お好きなシーンでブックマークを付けておくと、いつでもその位置に移動することができます。マークは12ヶ所まで付けることができます。

ブックマークを付ける

1. 再生中にブックマークボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2. マークをしたいシーンになったら再生(►)ボタンを押す。

◆ 右方向ボタン(➡)を押してブックマークの枠を移動します。次にマークしたいシーンになったら、**再生**(►)ボタンを押します。同様にして、12ヶ所までマークを付けることができます。

◆ ブックマークの枠は、順番に関係なく方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)で好きな枠を選んで、マークを付けることができます。

◆ すでにマークされた枠を選んで**停止**(■)ボタンを押すとブックマークは消去されます。

◆ 電源を切ったりディスクトレイカバーを開けると、すべてのブックマークが解除されます。

ブックマークを使う

1. ブックマークボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2. 方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)を押し、再生したいブックマークを選ぶ。

3. 再生(►)ボタンを押す。

ブックマークされた位置から再生が始まります。

順不同に再生する CD DVD

ディスクのチャプターやトラックを、順不同に再生することができます。

シャッフル ：全てのチャプター(トラック)を順不同に1回ずつ再生して停止します。

ランダム ：チャプター(トラック)を順不同に再生し続けます。同じチャプター(トラック)が連続して再生されることもあります。

1. 停止中または再生中に再生モードボタンを押す。

押すごとに、再生モードが切り換わります。

① シャッフル
② ランダム
③ プログラム
④ 通常再生

◆ 再生中にシャッフルまたはランダムを選んだ場合、再生中のチャプター(トラック)が終了したあと順不同に再生が始まります。

2. 停止中の場合、再生(►)ボタンを押す。

シャッフルまたはランダム再生が始まります。

プログラム再生 CD DVD

ディスクのチャプターやトラックを、好きな順にプログラムして再生することができます。
プログラムは20チャプター(トラック)まで登録することができます。

1. 再生モードボタンを押し、プログラムを選ぶ。

押すごとに、再生モードが切り換わります。

① シャッフル
② ランダム
③ プログラム
④ 通常再生

◆ 再生中、停止中のどちらでも操作できます。

2. 再生したいタイトルとチャプター(DVD)またはトラック(CD)を入力する。

DVD 再生時

プログラム：タイトル(13) チャプター (2)

01	タイトル：13チャプター：01	06	タイトル：--チャプター：--
02	タイトル：--チャプター：--	07	タイトル：--チャプター：--
03	タイトル：--チャプター：--	08	タイトル：--チャプター：--
04	タイトル：--チャプター：--	09	タイトル：--チャプター：--
05	タイトル：--チャプター：--	10	タイトル：--チャプター：--

終了　開始　次へ

※数字が入力されていないときは[開始]表示はされません。

◆ カーソル(反転表示)が01にあることを確認して、タイトル、チャプターの順に数字ボタンで入力します。

(例)

タイトル3、チャプター15を指定
→「3、+10、5」の順に押す。
タイトル23、チャプター20を指定
→「+10、+10、3、+10、10/0」の順に押す。

◆ カーソルが02に移動します。
◆ 同様に、2番目以降のプログラムを入力します。
◆ カーソルの移動は方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)で行います。
◆ 10プログラム以上入力するときは[**次へ**]を選択し**再生**(▶)ボタンを押します。

CD 再生時

プログラム：トラック (01-16)

01	03	06	--
02	--	07	--
03	--	08	--
04	--	09	--
05	--	10	--

終了　開始　次へ

※数字が入力されていないときは[開始]表示はされません。

◆ カーソル(反転表示)が01にあることを確認して、数字ボタンで入力します。

(例)

トラック3を指定
→「3」を押す。
トラック10を指定
→「10/0」を押す。
トラック25を指定
→「+10、+10、5」の順に押す。

◆ カーソルが02に移動します。
◆ 同様に、2番目以降のプログラムを入力します。
◆ カーソルの移動は方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)で行います。
◆ 10プログラム以上入力するときは[**次へ**]を選択し**再生**(▶)ボタンを押します。

3. [開始]にカーソルを移動し、再生(▶)ボタンを押す。

◆ プログラムした順に再生が始まります。
◆ **スキップ**(⏮/⏭)ボタンを押すとプログラムされた順にチャプター(トラック)を飛び越します。
◆ **サーチ**(◀◀/▶▶)ボタンを押すと早送り、早戻しができます。
◆ プログラム画面で「**停止**」を選ぶかディスクを完全に停止すると、すべてのプログラムが解除されます。

DVDダイジェスト再生 DVD

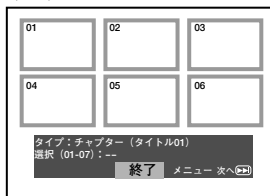
タイトルやチャプターの出だしや、約10分ごとに区切ったものを一覧表示させて、選んだ位置に移動することができます。

タイトルダイジェスト　：
　タイトルの出だしを一覧表示します。
チャプターダイジェスト：
　チャプターの出だしを一覧表示します。
タイトルインターバル　：
　タイトルを約10分ごとに区切って一覧表示します。
チャプターインターバル：
　チャプターを約10分ごとに区切って一覧表示します。
ブックマークダイジェスト：
　ブックマークを一覧表示します。(ブックマークが設定されているときのみ表示)

1. 再生中にダイジェストボタンを押す。

ダイジェスト

ダイジェストタイプを選択
タイトルダイジェスト
チャプターダイジェスト
タイトルインターバル
チャプターインターバル
ブックマークダイジェスト

2. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

◆ 再生したい番号を数字ボタンで指定すると、その位置から再生が始まります。
◆ 方向ボタンで[**メニュー**]を選ぶと、ダイジェストタイプの選択画面に戻ります。
◆ [**次へ**]を選ぶと次の6画面が表示されます。
◆ [**終了**]を選ぶとダイジェスト再生を終了します。

CDダイジェスト再生 CD

CDの各トラックの出だしを約10秒ずつ次々と再生させて確認することができます。

ダイジェストボタンを押す。

トラック01/16
スキャン

◆ ダイジェスト再生中に**再生**(▶)ボタンまたは**ダイジェスト**ボタンを押すと、再生中のトラックから通常再生が始まります。
◆ ダイジェスト再生中は、サーチ(◀◀/▶▶)ボタンやスキップ(|◀◀/▶▶|)ボタンなどは機能しません。

数字ボタンで直接選択する CD

CDのトラックをリモコンの数字ボタンで直接選んで再生を始めることができます。

数字ボタンで好きなトラックを選ぶ。

(例)

トラック3を指定→「3」を押す。
トラック10を指定→「10/0」を押す。
トラック25を指定→「+10、+10、5」の順に押す。

◆ 選ばれたトラックから再生が始まります。
◆ 再生中でも停止中でも操作できます。
◆ ディスクに記録されているトラック数以上の数字は受け付けません。

DVDのメニュー再生 DVD

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次のようにして表示することができます。

トップメニューを表示する

1. 再生中または停止中にトップメニューボタンを押す。

◆ トップメニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向ボタン(↑/↓/←/→)または数字ボタンでメニューの内容を選ぶ

◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトのジャケットなどをご参照ください。

タイトルメニューを表示する

1. 再生中または停止中にメニューボタンを押す。

◆ タイトルメニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向ボタン(↑/↓/←/→)または数字ボタンでメニューの内容を選ぶ

◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトのジャケットなどをご参照ください。

ズーム再生 DVD

映像を拡大したり縮小したりすることができます。

ズームボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。

① 2×
② 3×
③ 4×
④ 1/2
⑤ 1/3
⑥ 1/4
⑦ 通常再生

◆ 拡大表示のとき、方向(↑/↓/←/→)ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。

◆ **ズーム**ボタンを繰り返し押してズーム表示を消すと、通常再生に戻ります。

消音(ミュート)にする CD DVD

音声を一時的に消すことができます。

消音ボタンを押す。

◆ **消音**ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。

◆ 再生中でも停止中でも操作できます。

OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）を使った操作

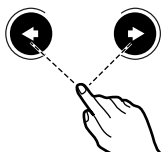
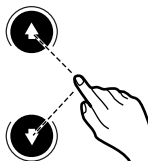
基本操作 CD DVD

画面上にいろいろな機能のアイコンを表示させ、リモコンで選んだり、操作することができます。この画面上の表示をOSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）といいます。
OSDを使った操作は、ほとんど一定の操作方法で行えるので大変便利です。

1. OSDを表示させる。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン･スクリーン表示になります。

2. メニューを選ぶ。

リモコンの左右方向ボタン（⬅/➡）で項目を選びます。画面で反転表示になっている部分が、選択された項目です。

3. リモコンの上下方向ボタン（⬆/⬇）で内容を選択する。

4. OSD画面を終了するときはOSDボタンを押す。

◆ 約10秒間操作がない場合も、OSD画面は自動的に終了します。

OSD画面例

再生中のディスクの種類　再生時間
メニューアイコン
DVDビデオ　0：26：27
Title　Chapter　Audio　Subtitle　Repeat
タイトル　01/05　チャプター　21/35
選択されているメニューの内容表示

メニューアイコン

DVD再生時

Title（タイトル）	：タイトルを選択します。
Chapter（チャプター）	：チャプターを選択します。
Audio（オーディオ）	：音声を選択します。
Subtitle（サブタイトル）	：字幕を選択します。
Repeat（リピート）	：リピートモードを選択します。

CD再生時

Track（トラック）	：トラックを選択します。
L/R	：音声出力モードを選択します。
Audio	：CDでは機能しません。
Repeat	：リピートモードを選択します。

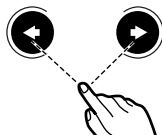
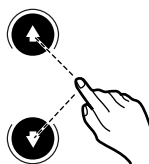
◆ ディスクの制作者の意図により、機能が選択できない場合があります。その場合は操作禁止マーク ⃠ が表示されます。
◆ 操作する機能によって、使用するボタンが異なります。

タイトルを選ぶ DVD

OSDを使って、指定したタイトルへ移動することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で
「Title（タイトル）」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン（↑/↓）で
タイトルを選ぶ。

数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。

（例）

タイトル04を指定→ 「4」を押す。
タイトル10を指定→ 「10/0」を押す。
タイトル12を指定→ 「+10、2」の順に押す。

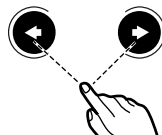
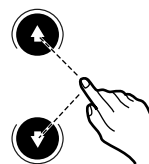
◆ 選択したタイトルから再生が始まります。
◆ ディスクに記録されているタイトル数以上の数字は受け付けません。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

チャプターを選ぶ DVD

OSDを使って、指定したチャプターへ移動することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で
「Chapter（チャプター）」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン（↑/↓）で
チャプターを選ぶ。

数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。

（例）

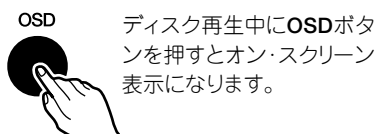
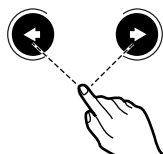
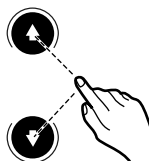
チャプター04を指定→ 「4」を押す。
チャプター10を指定→ 「10/0」を押す。
チャプター12を指定→ 「+10、2」の順に押す。

◆ 選択したチャプターから再生が始まります。
◆ ディスクに記録されているチャプター数以上の数字は受け付けません。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

音声(オーディオ)を選ぶ DVD

ディスクに複数の音声が記録されているときは、OSDを使って、音声フォーマットや言語を選択することができます。

1. OSDボタンを押す。

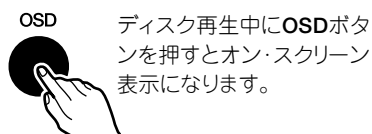
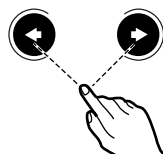
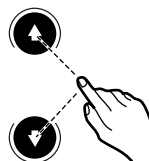
ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Audio(オーディオ)」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(↑/↓)で音声フォーマットや言語を選ぶ。

◆ 選択した音声で再生されます。電源を切ったりディスクを完全に停止すると、初期設定に戻ります。

◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

字幕(サブタイトル)を選ぶ DVD

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、OSDを使って、字幕を選択することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Subtitle(サブタイトル)」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(↑/↓)で字幕を選ぶ。

◆ 選択した字幕が表示されます。電源を切ったりディスクを完全に停止すると、初期設定に戻ります。

◆ 字幕を表示させたくないときは**非表示**を選択します。

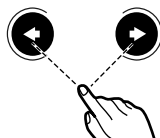
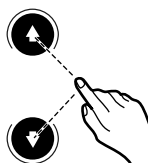
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

リピート再生（繰り返し）DVD

OSDを使って、ディスク全体や、タイトル、チャプターを繰り返し再生することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で「Repeat（リピート）」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン（↑/↓）でリピートモードを選ぶ。

チャプター：再生中のチャプターを繰り返します。
タイトル：再生中のタイトルを繰り返します。
すべて：ディスク全体を繰り返します。
OFF：通常再生。

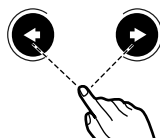
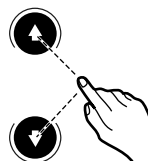
◆ 選択したリピートモードは、解除するまで機能し続けます。
◆ リピートを解除したいときは**OFF**を選ぶかディスクを停止します。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

CDのトラックを選ぶ CD

OSDを使って、指定したトラックへ移動することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン（←/→）で「Track（トラック）」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン（↑/↓）でトラックを選ぶ。

数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。

（例）
トラック04を指定→ 「4」を押す。
トラック10を指定→ 「10/0」を押す。
トラック12を指定→ 「+10、2」の順に押す。

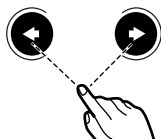
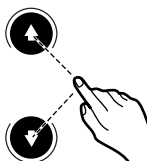
◆ 選択したトラックから再生が始まります。
◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

音声出力モードを選ぶ CD

OSDを使って、音声の出力方法を切り換えることができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(⬅/➡)で「L/R」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(⬆/⬇)で出力方法を選ぶ。

モノ(左)	: 左の音声を出力します。
モノ(右)	: 右の音声を出力します。
モノミックス	: 左右の音声をミックスして出力します。
ステレオ	: ステレオで出力します。

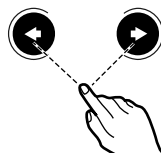
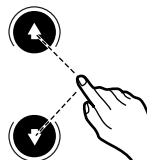
- ◆ 通常は「ステレオ」にしておきます。
- ◆ 選択した方法で出力されます。電源を切ったりディスクトレイカバーを開けると、初期設定に戻ります。
- ◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

CDのリピート再生 CD

OSDを使って、ディスク全体や、トラックを繰り返し再生することができます。

1. OSDボタンを押す。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(⬅/➡)で「Repeat(リピート)」を選ぶ。

3. 上下方向ボタン(⬆/⬇)でリピートモードを選ぶ。

トラック	: 再生中のトラックを繰り返します。
すべて	: ディスク全体を繰り返します。
OFF	: 通常再生。

- ◆ 選択したリピートモードは、解除するまで機能し続けます。
- ◆ リピートを解除したいときは、**OFF**を選ぶかディスクを停止します。
- ◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

初期設定を変更する

設定内容の説明

本機では、テレビへの対応や音声出力方法など、様々な設定がされています。
これらの初期設定値を、お使いの接続機器などに合わせて変更することができます。
設定内容は次のようになっています。(　　　で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)

全般設定

TV表示(ディスクによっては設定が有効にならない場合があります。)

ノーマル/PS:
本機を通常のテレビに接続するときに選択します。ワイドスクリーン映像を再生した場合は左右がカットされます。

ノーマル/LB:
本機を通常のテレビに接続するときに選択します。ワイドスクリーン映像を再生した場合は上下に黒い帯が表示されます。

ワイド:
本機をワイドスクリーンテレビに接続するときに選択します。

TVタイプ

PAL:
ヨーロッパなどで採用されているテレビのタイプです。

マルチ:
PALとNTSCのテレビタイプに合わせて、自動的に切り換わるテレビに接続するときに選択します。

NTSC:
日本国内(ほかにアメリカなど)で採用されているテレビのタイプです。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)言語

英語と日本語が選べます。

SPDIF

OFF:
本機のコアキシャル(デジタル音声)出力端子から信号は出ません。

SPDIF/RAW:
本機のコアキシャル(デジタル音声)出力端子からドルビーデジタルおよびMPEGデコーダー内蔵のデジタルアンプに接続するときに選択します。

SPDIF/PCM
本機のコアキシャル(デジタル音声)出力端子から2チャンネルデジタルアンプに接続するときに選択します。ドルビーデジタルまたはMPEGフォーマットのディスクを再生した場合は2チャンネルPCMで出力されます。

全般設定

キャプション

クローズドキャプションのON（表示）、OFF（非表示）を選びます。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーのONまたはOFFを選択します。
スクリーンセーバーをONにすると6〜7分間映像が停止するか、操作がなかった場合、スクリーンセーバー画面になります。

オーディオの設定

スピーカー設定

ダウンミックス

Lt/Rt：マルチチャンネルトラックを左右のチャンネルに振り分けます。
ステレオ：マルチチャンネルトラックをステレオに振り分けます。

ドルビーデジタル設定

デュアル・モノ

ステレオ：ステレオで出力されます。
モノ（左）：左右のチャンネルに左チャンネルの信号が出力されます。
モノ（右）：左右のチャンネルに右チャンネルの信号が出力されます。
モノミックス：5.1チャンネルディスクのときのみ機能して、各チャンネルをモノにミックスします。

ダイナミックレンジ（OFF）

ドルビーデジタルディスクを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を設定して、聞き易くする機能です。OFFが圧縮無しで、FULLがダイナミックレンジを最大限圧縮します。

チャンネルイコライザ

EQのタイプ

再生している音楽のジャンルや音質の好みに合わせて、8種類のパターンからイコライザのタイプを選択することができます。
イコライザのパターン：なし（フラット）、ロック、ポップ、ライブ、ダンス、テクノ、クラシック、ソフト

3D処理

バーチャルサラウンド

バーチャルサラウンドのON、OFFを選択します。

リバーブモード

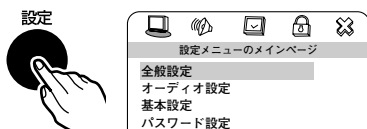
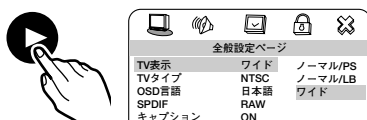
再生している音楽のジャンルや音質の好みに合わせて、8種類のパターンから残響音のタイプを選択することができます。
リバーブのタイプ：OFF、コンサート、リビングルーム、ホール、バスルーム、洞窟、アリーナ、教会

※「基本設定」はディスクの停止中のみ操作できます。

<table>
<tr><td rowspan="6">基本設定</td><td>オーディオ、サブタイトル、ディスク・メニュー</td></tr>
<tr><td>音声、字幕、ディスクメニューのそれぞれで、再生時の言語を選択します。
ディスクに記録されている指定言語が、この設定よりも優先されます。
特に指定言語が記録されていないときは、この設定にしたがいます。
設定可能言語：英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語</td></tr>
<tr><td>親による管理</td></tr>
<tr><td>子供に見せたくないソフトなどのレベルを設定して、規定値よりも高いレベルのソフトを再生できないようにすることができます。
例えばレベル“3 PG”に設定すると、それ以上のレベルのソフトは再生されません。
設定レベルは“1 G”から“8 アダルト”までの範囲です。</td></tr>
<tr><td>初期値</td></tr>
<tr><td>リセット
工場出荷時の設定に戻します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">パスワードの設定</td><td>パスワードモード</td></tr>
<tr><td>ON　：パスワードが有効になり、「親による管理」（視聴制限）は選択できない状態になります。
OFF：パスワードが無効になり、「親による管理」（視聴制限）が選択できます。</td></tr>
<tr><td>パスワード</td></tr>
<tr><td>変更：パスワードを変更をするときに選択します。</td></tr>
</table>

全般設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 全般設定が選択されていることを確認して再生ボタンを押す。

3. 上下方向（↑/↓）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

上図の例では「TV表示」を選んでいます。

4. 上下方向（↑/↓）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

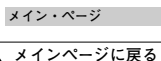
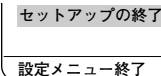
上図の例では「ワイド」を選んでいます。

5. 左方向（←）ボタンで前のメニューに戻る。

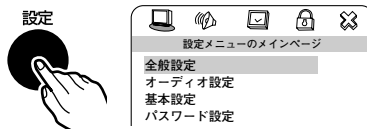
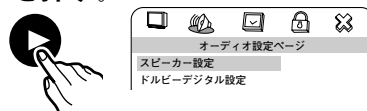
6. 下方向（↓）ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生（▶）ボタンを押す。

続けて設定するときは別の項目を選びます。

メイン・ページ
メインページに戻る

7. 下方向（↓）ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

セットアップの終了
設定メニュー終了

設定画面が終了します。

オーディオの設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向（↑/↓）ボタンで「オーディオの設定」を選び、再生ボタンを押す。

3. 上下方向（↑/↓）ボタンで設定する項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

上図の例では「スピーカー設定」を選んでいます。もう一度サブメニュー画面が出ます。

4. 上下方向ボタンで項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

右側のメニューが選択されます。

5. 上下方向ボタンで項目を選び、再生（▶）ボタンを押す。

6. 左方向（←）ボタンで前のメニューに戻る。

7. 下方向（↓）ボタンで「オーディオ設定」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

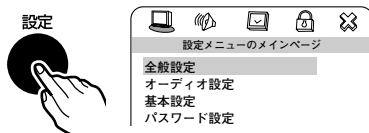
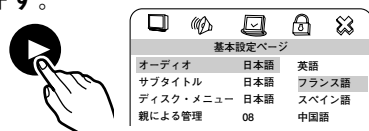
続けて設定するときは別の項目を選びます。

8. 下方向（↓）ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生（▶）ボタンを押す。

9. 下方向（↓）ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生（▶）ボタンを押す。

設定画面が終了します。

基本設定を行う

1. ディスク停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで「基本設定」を選び再生(▶)ボタンを押す。

3. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「オーディオ」を選んでいます。

4. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「フランス語」を選んでいます。

5. 左方向(⬅)ボタンで前のメニューに戻る。

6. 下方向(⬇)ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生(▶)ボタンを押す。

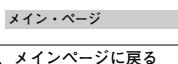
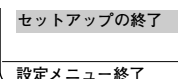
続けて設定するときは別の項目を選びます。

メイン・ページ

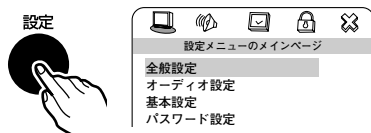
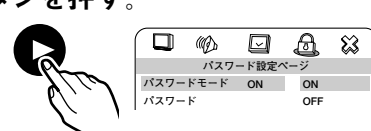
メインページに戻る

7. 下方向(⬇)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

セットアップの終了

設定メニュー終了

設定画面が終了します。

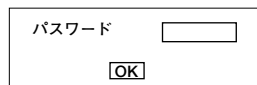
パスワードモードの設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向(⬆/⬇)ボタンで「パスワードの設定」を選び再生(▶)ボタンを押す。

3. 「パスワードモード」を選び、再生(▶)ボタンを押す。

4. 上下方向(⬆/⬇)ボタンでONまたはOFFを選び、再生(▶)ボタンを押す。

前の設定を変更する場合パスワードが要求されます。

パスワード

OK

5. 数字ボタンでパスワードを入力する。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。

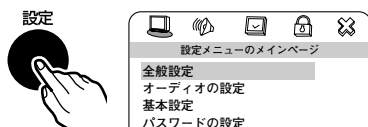
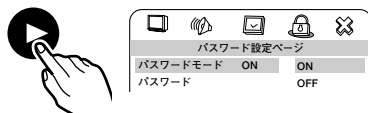
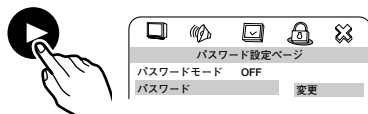
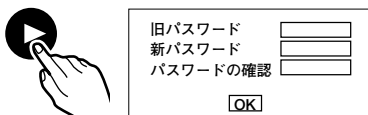
6. 再生(▶)ボタンを押す。

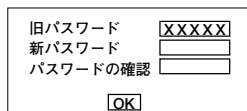
7. 下方向(⬇)ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生(▶)ボタンを押す。

8. 下方向(⬇)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

設定画面が終了します。

パスワードを変更する

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。

2. 上下方向(↑/↓)ボタンで「パスワードの設定」を選び再生(►)ボタンを押す。

3. 「パスワード」を選び、再生(►)ボタンを押す。

4. 「変更」が選択されるので、再生(►)ボタンを押す。

5. 数字ボタンで旧パスワードを入力する。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。

6. 新パスワードを入力します。

7. 新パスワードをもう一度入力し、再生(►)ボタンを押す。

パスワードが変更されます。

8. 下方向(↓)ボタンで「メイン・ページ」を選択して、再生(►)ボタンを押す。

9. 下方向(↓)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(►)ボタンを押す。

設定画面が終了します。

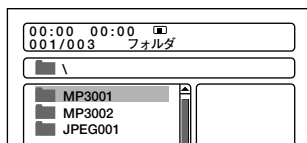
MP3/JPEGファイルを再生する

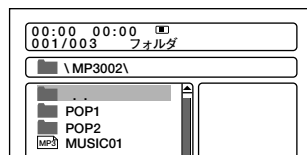
本機では、高音質なままファイルサイズを小さくできるMP3ファイルや、デジタルカメラなどで広く使われてるJPEG画像を再生することができます。

- 再生するファイルには拡張子が「.mp3」(MP3ファイル)、「.jpg」(JPEGファイル)以外のデータを混ぜないでください。
- 異なったファイル形式に上記の拡張子を付けることは避けてください。
  大きな雑音が発生する恐れがあります。

メニュー画面から選んで再生する

1. データディスクをセットする。

ディスクの情報を読み込んでメニュー画面が表示されます。

2. 下方向(↓)ボタンを押して開きたいフォルダを選び、再生(►)ボタンを押す。

フォルダの中身が表示されます。
目的のファイルが表示されるまで、フォルダの選択を繰り返します。
一番上にある「..」フォルダを選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。

3. 再生するファイルを選び、再生(►)ボタンを押す。

再生が始まります。

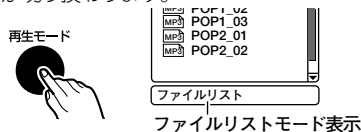
◆ 画像を表示するときは、ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

いろいろな再生

再生モードを切り換える。

ファイルのみを一覧表示させることができます。

停止中に再生モードボタンを押す。

押すごとに、ファイルリストモードとノーマルモードが切り換わります。

再生(►)ボタンを押すと再生が始まります。
異なった形式のファイルが混在している場合は、選んだファイル形式と異なったファイルの前まで再生して停止します。

スキップ(飛び越し)

再生中にスキップ(|◄◄/►►|)ボタンを押す。

押すごとに、前後のファイルに飛び越します。
再生中のフォルダを越えてスキップすることはできません。

リピート再生(繰り返し)

ファイルを選んでリピートボタンを押す。

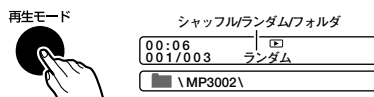
押すごとに、シングルリピート、フォルダR、フォルダ(通常再生)が切り換わります。

シングルリピート: ファイルを繰り返します。
フォルダR(フォルダリピート):
フォルダ内の全ファイルを繰り返します。

順不同に再生する(MP3)

シャッフル/ランダム再生ができます。(21ページ)

再生中に再生モードボタンを押す。

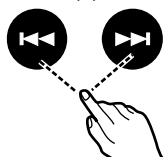
押すごとに、シャッフル、ランダム、フォルダ(通常再生)が切り換わります。

JPEGファイルのいろいろな再生

JPEGファイルの再生中に一定の操作をすることで、様々な機能を楽しむことができます。
ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

前後の画像にスキップする

ボタンを押して前後の画像にスキップします。

画像表示中にスキップボタンを押す。

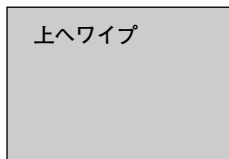
前の画像へ　次の画像へ
― スキップ ―

◆ シングルリピート再生中は機能しません。

スライドショーの切換効果を選ぶ

スライドショーで画像が切り換わるときの特殊効果を選ぶことができます。
本機は15種類の切換効果を選ぶことができます。

画像表示中に再生モードボタンを押す。

押すごとに、切換効果が変わります。

上へワイプ

サムネールモードで選ぶ

画像を9ファイルずつ縮小表示させることができます。

1. 画像表示中に停止(■)ボタンを押す。

2. 方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)で再生したい画像を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

次の9ファイル分を表示するには「次へ」を選択します。
選んだファイルから再生が始まります。

ボタン機能を表示する

各ボタンの機能説明を表示します。

1. 画像表示中に停止(■)ボタンを押す。

画像が9ファイルずつ縮小表示されます。

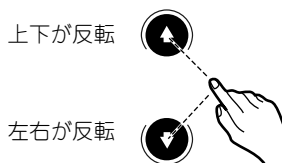
2. 方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)を押し「メニュー」を選ぶ。

各ボタンの機能説明が表示されます。

画像を反転表示する

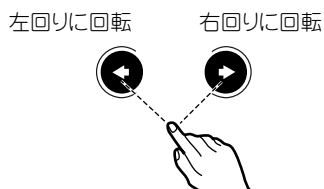
画像を上下に反転させたり、左右に反転(ミラー)させることができます。

画像表示中に上方向(⬆)ボタン、または下方向(⬇)ボタンを押す。

押すごとに、反転を繰り返します。

画像を回転表示する

画像を90度ずつ左回りに回転させたり、右回りに回転させることができます。

画像表示中に左方向(⬅)ボタン、または右方向(➡)ボタンを押す。

押すごとに、画像が90度ずつ回転します。

画像を拡大、縮小する

画像を拡大したり、縮小したりすることができます。

1. 画像表示中にズームボタンを押す。

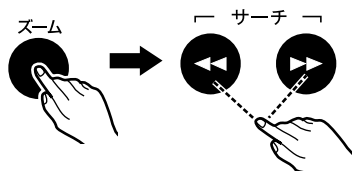
画面左上にズームマークが表示されます。

2. サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

▶▶ ：押すごとに、3段階に拡大します。
◀◀ ：押すごとに、2段階に縮小します。

◆ 元のサイズに戻すときは**ズーム**ボタンを押します。

拡大した画像を上下左右に移動する

1. 画像を拡大する。

2. 方向ボタン(⬆/⬇/⬅/➡)を押して上下左右に移動する。

液晶画面を調節する

液晶画面の明るさや、彩度、表示サイズを変更することができます。

画面の明るさを調節する

1. 再生中または停止中に、本体のMONITOR（モニター）ボタンまたはリモコンの画面調節ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

明るさ調節画面

08

2. 明るさ調節画面を表示し、左右方向ボタン（⬅/➡）で調節する。

画面の彩度を調節する

1. 再生中または停止中に、本体のMONITORボタンまたはリモコンの画面調節ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

彩度調節画面

08

2. 彩度調節画面を表示し、左右方向ボタン（⬅/➡）で調節する。

画面の表示モードを切り換える

1. 再生中または停止中に、本体のMONITORボタンまたはリモコンの画面調節ボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 明るさ
② 彩度
③ 表示モード

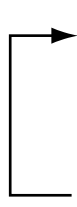
表示モード切換画面

全画面モード

標準モード

2. 表示モード切換画面を表示し、左右方向ボタン（⬅/➡）で切り換える。

押すごとに、次のように切り換わります。

① 全画面モード

② 標準モード

外部機器と接続する(SOURCEボタンの使いかた)

外部機器と接続する場合は、本体のSOURCEボタンを押して設定を切り換えてください。
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

① AV OUT(アウト) ：AV OUT(AV出力)端子に接続したテレビなどでご覧になるとき。
↓
② AV IN(イン) ：AV IN (AV入力)端子に接続した外部機器の映像を本機でご覧になるとき。
↓
③ DVD ：本機の液晶画面でご覧になるとき。

AVケーブルで外部のテレビなどに接続してある場合、そのままでは外部のテレビで正常に表示することができません。SOURCEボタンを切り換えると正常に表示することができます。

※ ボタン操作のとき、信号切換のためにしばらくの間、画面が黒または青になることがありますが、これは故障ではありません。
※ ①は外部のテレビなどに映像を出力するとき、②は外部のビデオカメラなどから映像を入力するときに選択します。

故障と思われる症状ですが...

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症　状	対　応
音が出ない。	・本機の接続が確実か点検してください。 ・ヘッドホン使用時には、ヘッドホンの音量(ボリューム)を最小に設定していないか点検してください。 ・テレビやアンプの操作が適正か確かめてください。 ・DTS形式の音声はサポートしていません。
画像が出ない。	・本機の接続が確実か点検してください。 ・テレビの操作が適正か確かめてください。 ・カラーシステムの設定が適正か確かめてください。 ・ビデオ付テレビやビデオデッキに接続して楽しむ場合は、コピーガードが働いて正しく表示することができません。直接テレビに接続してお楽しみください。
音質が悪い。	・オーディオ出力の設定が適正か確かめてください。 ・本機とアンプ間のオーディオ接続が適正か確かめてください。
ディスクが再生できない。	・本機にディスクが入っていますか。 ・ディスクのラベル面を上にしてディスクトレイに正しく載せてください。 ・ディスクを掃除してください。 ・本機内に結露が無いか確かめてください。ディスクを取り外し、本機を約1時間ONにしておいてください。
リモコンが作動しない。	・リモコンと本機間の障害物を取り除いてください。 ・リモコンを本機の受光部に向けてください。 ・電池を新しいものと交換してください。
画像が流れ、映像が出ない。	・本機の設定がTVと合っていないおそれがあります。初期設定の「TVタイプ」(30ページ)でお使いのテレビに合わせてください。

著作権について

◆ ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

◆ ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。

◆ 本機はマクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析(リバースエンジニアリング)または改造は禁止されています。

◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

◆ ドルビー、Dolby、ドルビープロロジックおよびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

◆ DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。

◆ DVDロゴは商標です。

技術仕様

レーザー		波長650nm
ビデオシステム		PAL/MULTI/NTSC
周波数応答		20Hz～20KHz±1dB
SN比		95dB以上
オーディオ歪み+ノイズ		—80dB（1KHz）以下
チャンネルセパレーション		85dB以上
ダイナミックレンジ		85dB以上
出力	アナログオーディオ出力	出力レベル:2V±10% 負荷インピーダンス:10kΩ
	デジタルオーディオ出力	出力レベル: 0.5Vp-p
	ビデオ出力	出力レベル:1Vp-p±20% 負荷インピーダンス:75Ω、不均衡、負極性
電源		DC9V 2.2A
許容動作温度		5～35℃
消費電力		20W以下
寸法		190×142×37 mm
重量		約 790 g（バッテリーパックを除く）

付属充電バッテリーパックの使用時間の目安。

DVD再生時、液晶表示 ON	約 3時間
DVD再生時、液晶表示 OFF	約 5時間

※ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その際は、金属端子部にセロハンテープなどを貼って絶縁してください。
バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページ（http://www.jbrc.com）を参照してください。